

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	臨床心理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	二年次		学期及び曜時限	前期 水曜2限	教室名	405教室
担 当 教 員	坂田 年彦	実務経験と その関連資格	理学療法士として医療機関に勤務経験あり。協会活動でスポーツ分野にも携わる。修士(人間科学)取得。			
《授業科目における学習内容》						
心の援助のための様々なアプローチ方法について心理療法という観点から学び、具体的な精神病理についても理解する。また、心理検査の体験を通じて、自分自身がどのような人間かを深く洞察し理解した上で、他者と意思疎通を図るために有効な技法などを演習を交えて学んでいく。						
《成績評価の方法と基準》						
講義内での演習に関する小課題(30点)、筆記試験(70点)の合計点で評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
講義は配付資料をもとに進める。 【教科書】「心とかかわる臨床心理」 ナカニシヤ出版 【参考資料】「これからの心の援助」 ナカニシヤ出版 「言語聴覚士のための心理学」 医歯薬出版						
《授業外における学習方法》						
授業外学習は復習に重点を置く。 講義内の演習に関する小課題を課した場合は、指定した期日を守って提出すること。						
《履修に当たっての留意点》						
本講義ではペアやグループでの演習を多用し、対人援助について体験的に学ぶ機会を提供するので、講義への参加(課題の提出)を成績評価の上でも非常に重視する。相手を選ばず自分から人と積極的に関わる意欲を持って講義に臨んでほしい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	クライアント中心療法の特徴を説明できる。 セラピストの中核3条件を列挙し、それぞれの意味を説明できる。	教科書、配付資料		セラピストの中核3条件を復習して覚える。 言語的技法の演習について振り返りシートを完成させ、期日までに提出する。
		各コマにおける授業予定	臨床心理学の導入、クライアント中心療法 ・理論概要、セラピストの中核3条件について			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	セラピストの中核3条件を十分満たせるような「聴き方」を体験的に学び、実際の対人援助に生かすことができる。	教科書、配付資料		言語的技法の演習について振り返りシートを完成させ、期日までに提出する。
		各コマにおける授業予定	クライアント中心療法と関連する技法① ・言語的技法の演習①(受容、繰り返し、支持、明確化、質問)			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	セラピストの中核3条件を十分満たせるような「聴き方」を体験的に学び、実際の対人援助に生かすことができる。	教科書、配付資料		言語的技法の演習について振り返りシートを完成させ、期日までに提出する。
		各コマにおける授業予定	クライアント中心療法と関連する技法② ・言語的技法の演習②(受容、繰り返し、支持、明確化、質問)			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	セラピストの中核3条件を十分満たせるような「聴き方」を体験的に学び、実際の対人援助に生かすことができる。	教科書、配付資料		言語的技法の演習について振り返りシートを完成させ、期日までに提出する。
		各コマにおける授業予定	クライアント中心療法と関連する技法③ ・言語的技法の演習③(受容、繰り返し、支持、明確化、質問)			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	カウンセリング・マインドを持って相手の話を聴くための姿勢・態度の「軸」を学び、実際の対人援助に生かすことができる。	教科書、配付資料		「簡易カウンセリング」の振り返りシートを完成させ、期日までに提出する。
		各コマにおける授業予定	クライアント中心療法と関連する技法④ ・総まとめ(面接技法、伝え方など)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	司法面接の特徴を説明できる。 子どもの特性および面接時における注意点を説明できる。	教科書、配付資料	「司法面接」の復習プリントを完成させ、期日までに提出する。
	各コマにおける授業予定	「事実確認」を重視した面接技法 ・司法面接の概要、面接時における子どもの特性 ・司法面接 実施の流れと主な技法			
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	こちらから誘導することなくオープン質問で面接を展開できる。 バックスタッフの役割を理解し、面接者をサポートできる。	教科書、配付資料	「司法面接演習」の振り返りシートを完成させ、期日までに提出する。
	各コマにおける授業予定	子どもを想定した司法面接演習			
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	精神分析の重要概念のうち、構造論と局所論について説明できる。	教科書、配付資料	構造論および局所論、防衛機制について復習をして覚える。
	各コマにおける授業予定	精神分析 ・重要概念：構造論、局所論、自由連想法、転移/逆転移、抵抗 ・関連事項：防衛機制、心理性的発達段階理論、分析心理学			
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	エゴグラムの結果を適切に解釈し、自分がどのような特徴を持った人物なのか説明できる。	教科書、配付資料	「エゴグラム」について振り返りシートを完成させ、期日までに提出する。
	各コマにおける授業予定	交流分析 ・概要 ・自我構造分析：エゴグラムの演習 ・やり取り分析、ゲーム分析、人生脚本			
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	学習理論・行動理論について、それらの概要を説明できる。 行動療法の主要な技法を列挙し、それらの概要を説明できる。	教科書、配付資料	「系統的脱感作法」について振り返りシートを完成させ、期日までに提出する。
	各コマにおける授業予定	行動療法の理論的背景 行動療法の主要な技法、系統的脱感作法の演習 行動療法と関連する技法、筋弛緩法と自律訓練法の演習			
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	認知行動療法がどのようなものか説明できる。	教科書、配付資料	「コラム法」について振り返りシートを完成させ、期日までに提出する。
	各コマにおける授業予定	認知行動療法の基盤 ・認知療法、論理療法、自己教示訓練 認知行動療法の主な技法 ・行動的技法、認知的技法：コラム法の演習			
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	各心理療法について、それらの概要を説明できる。	教科書、配付資料	「共同絵画」について振り返りシートを完成させ、期日までに提出する。
	各コマにおける授業予定	その他の心理療法① ・家族療法、短期療法、遊戯療法、芸術療法、箱庭療法 ・「共同絵画」の演習			
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	各心理療法について、それらの概要を説明できる。	教科書、配付資料	「SST」の振り返りシートを完成させ、期日までに提出する。
	各コマにおける授業予定	その他の心理療法② ・集団療法、内観療法、森田療法、ゲシュタルト療法 ・SSTの演習			
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	心身機能の異常としての精神症状を示す語句を列挙し、その症状について説明できる。	教科書、配付資料	講義内で取り上げた「心身機能の異常としての精神症状」の用語と概要を復習する。
	各コマにおける授業予定	心に関わる諸問題 主な心身機能の異常としての精神症状			
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	本科目における重要語句、キーワードについて説明できる。	教科書、配付資料	「まとめプリント」の内容を中心に復習する。
	各コマにおける授業予定	本科目のまとめ 国家試験過去問題演習			